

山崎達也教授がヒューマンインタフェース学会の第 20 回ヒューマンインタフェース学会論文賞を受賞しました。

山崎達也教授が、ヒューマンインタフェース学会の第 20 回ヒューマンインタフェース学会論文賞を受賞しました。

受賞論文：

“一時的 UX を向上させ利用意向度を高める歩きスマホ防止アプリケーション,” ヒューマンインタフェース学会論文誌, 20 巻, 2 号, pp. 243-254, May 2018.

受賞者：

江口真人¹⁾, 三好匠²⁾, 新津善弘²⁾, 山崎達也³⁾, 大野健彦⁴⁾

¹⁾NTT コミュニケーションズ(株), ²⁾芝浦工業大学, ³⁾新潟大学, ⁴⁾NTT テクノクロス(株),

本論文は、ユーザの利用時の満足感を向上させつつも歩きスマホを防止するアプリケーションを新たに提案し、プロトタイプ実装による評価実験を行ったものであり、学術・技術に寄与するところの大きい論文として評価されたものです。

